

第28回評議員会議案書

- 議案：(1) 2016年度(第22期2年度)経過報告
- (2) 2016年度収支決算及び会計監査報告
- (3) 2017年度(第23期1年度)理事会役員案
- (4) 2017年度事業計画案
- (5) 2017年度予算案
- (6) その他

日時：2017年2月10日(金) 午後5時30分～6時20分

会場：ヴィアーレ 大阪 5階 アレグロ

大阪市立大学工学部同窓会

(1) 2016年度経過報告

第22期(2015年1月～2016年12月)2年目の2016年度(2016年1月～12月)の主要事項の経過は、以下の通りである。

① 会報の発行

2016年12月25日に同窓会報第32号を11,000部発行、住所判明の正会員(約9,400名)、準会員(約1,300名)、現・旧特別会員(約140名)および、大学関係の部局・団体に郵送・配布した。

② 工学部及び全市大の行事・事業への協力

・工学部及び工学研究科の送別式：

3月22日午後1時に工学部階段教室で開催され、西口会長及び理事有志が列席し、西口会長から祝辞が贈られた。当会の新正会員となったのは272名[学部卒業生：277名、大学院修了生(他大学卒)：12名 [前博：10名(全183名)、後博：2名(全7名)]であった。

・第124回市大ボート祭：

5月21日・22日の両日に桜の宮付近の大川で開催され、協賛アドバルーンを掲揚した。

・大阪市立大学：

1)「第14回ホームカミングデー」：

①11月3日の文化の日に大学主催、大阪市立大学同窓会・大学教育後援会共催で開催され、全学合同の講演会と懇親会に当会から23名(全学約300名)が参加した。

②ホームカミングデー行事の一環として「工学部・同窓会共催；新任・若手教授による講演会」を工学部G棟中講義室で開催し、40名の参加者があった。

2)大阪市立大学文化交流センターロビー管理者の人件費を分担した。

・大阪市立大学同窓会：

今年度工学部新生に対する入会受付(4月7日)を行った。今年度の顕彰式(11月)には当会選出の役員・評議員有志が出席。

③ 第27回評議員会の開催

2月13日(土)に、杉本キャンパスの学術情報総合センターで第27回評議員会を開催し、第22期第1年度(2015年度)の経過報告、収支決算報告・会計監査報告及び、第22期2年度(2016年度)の理事改選、事業計画及び予算が承認された。

④ 会員相互の親睦・交流の促進

・工学部同窓会の集い

「工学部同窓会の集い」を、2月13日(土)の評議員会の後に開催し、恩師1名、講演会講師を含む50名の同窓が集い、講演会で「サーマルグリッド技術の開発と実証」を大阪市立大学複合先端研究機構の中尾正喜特命教授に、「大阪市立大学に近況について」を市立大学副学長でもあります大嶋寛理事のお話を拝聴した後、約1時間半の懇親会で親睦を深め合った。

・工学部同窓会主催の学生・院生の工場見学

2月17日に「大阪市消防局」と「西消防署」の見学会を37名の参加で行った。

⑤ 特別基金の運用と利用

・外貨運用：

米国債1件を2015年2月に償還し、野村米ドルMMFに入金した。

⑥ 新準会員数と終身会費の払込

今年入学の新準会員は308名（学部：298名、大学院（他大学卒・修）：15名）であった。
また、学部入学の新準会員からの終身会費納入者は167名（約56.1%）（12月末現在）であった。
なお、大学院1回生3名、学部2回生11名、学部3回生2名、学部4回生1名、卒業生1名の
合計185名から終身会費の振込みがあった。

⑦ 奨学金の貸与（事前予約型奨学金）

奨学金基金から、新入生2名に各50万円（入学金+授業料の半額）、2回生1名と3回生1名
に25万円（授業料の半額）を貸与した。

⑧ 経常寄付について

今年度も37名の会員から249,000円のご寄付をいただいた。

(2)2016年度収支決算および会計監査報告

・ 別添2016年度収支決算書等挿入

会 計 監 査 報 告 書

大阪市立大学工学部同窓会の下記期間における会計について監査した結果を次のと
おり報告する。

1. 期 間 2016年1月1日～2016年12月31日

2. 監査年月日 2017年1月19日

3. 監査資料

収支決算書	2通	金銭出納帳	1冊
銀行勘定帳	1冊	収入伝票綴	2冊
支出伝票・領収書綴	2冊	振替伝票綴	2冊
郵便振替受払通知書綴	2冊	預金通帳・証書	16通
有価証券	1通		

4. 監査結果

上記のとおり監査を行ったところ、各種帳簿、伝票及び証拠書類は正確に処理されて
おり、当期の会計管理状況は良好であると認められる。

以 上

2017年1月19日

監 事 志 野 太 一 (印)
監 事 高 桑 久 茂 (印)

大阪市立大学工学部同窓会会長
西 口 克 彦 殿

(4) 2017年度(第23期1年度) 理事会役員案

- 会 長 黒山 泰弘(土50)
- 副会長 貴志 義昭(建41) 齊藤 壽士(物44) 神門 登(化45) 森田 至彦(電51)
吉田 稔(機52)
- 会 計 東 恒雄(機41)
- 理 事 人見 宗男(機31) 宮本 万功(機43) 笠上 文男(機50) 瀧山 武(機59)
栗政 幸一(電31) 建部 渉(電35) 行藤 三男(電36) 南 繁行(電45)
前谷 治男(電51) 木村 雅之(電51) 村治 雅文(電62)
山田文一郎(化修40) 三浦 洋三(化42) 西口 克彦(化43) 安田 裕(化48)
大嶋 寛(化49)
坂 壽二(建42) 中川 長継(建48) 太田 隆司(建55) 小西 浩夫(建56)
谷口 徹郎(建59)
芝野 弘之(土44) 浅井 真一(土48) 廣瀬 彰則(土54) 日野 泰雄(土50)
大島 昭彦(土55)
田守 芳勝(物38) 柳川 重昌(物44) 山本 孝(物45) 大前 秀治(物56)
- 監 事 高桑 久茂(電46) 志野 太一(物40)
(退任) 近藤 紘一(化37) 金次 末廣(建44) 伊勢 博義(建54) 湊 勝比古(土41)
小林 俊明(土44) 辻江 賢治(土48)

※アンダーラインは新任

(5) 2017年度(第23期1年度) 事業計画案

① 会報第33号の発行

2017年12月に会報第33号を発行し、本年11月末現在の連絡可能な全正・準会員(約11,000名)、現・旧特別会員(約140名)、本年度に工学部・大学院工学研究科(他大学出身)に入学する新準会員、及び大学関係部局・団体に配布する。

② 工学部及び全市大の行事・事業への協力

工学部・工学研究科の送別式、市大ボート祭、大阪市立大学同窓会主催のホームカミングデー(11月3日開催予定)、大阪市立大学文化交流センターロビーの運営及び「大阪市立大学夢基金(平成26年10月1日開始)」等に協力する。

なお、ホームカミングデーでの全学合同講演会・懇親会へ会員参加の促進を行う。

③ 会員相互の親睦と交流の促進

2月10日(金)の第28回評議員会終了後に「工学部同窓会の集い—同窓懇親パーティー2017—」を開催し、会員相互の縦横的な交流と親睦を促進する。

④ 特別基金の運用と活用

・特別基金の運用：

米国債1件（2015年2月15日 償還）の償還金は、野村米ドルMMF口座で運用中であるが
適当な時期に解約の予定。

・特別基金の活用

工学研究科後期博士課程進学生就学援助の適格者に援助金（25万円/年・人）を支給し万一
経常費が予算を超えた場合は必要な金額を振替補充する予定。

⑤ 工学部同窓会奨学金基金の運用

2回生2名、3回生及び4回生各1名にそれぞれ25万円貸与。本年度の事前予約採択者は11名で、
その内1名は推薦入試合格者で貸与確定、本年1月18日に50万円貸与済み。後の10名について
は合格確定後に貸与の予定。

⑥ 準会員（在學生）の工場見学の実施

2011年度から始めた「貸切バスによる準会員（在學生）の工場見学」として、今年度は2月
16日（木）ダイハツ工業(株)池田工場に行く予定。

⑦ 工学部・同窓会共催；新任・若手教授による講演会の実施

ホームカミングデーの一環として実施する。

(6) 2017年度（第23期1年度）予算案

① **経常費**

(収入)

項目	予算額	備考
終身会費	5,520,000	終身会費30,000×184名分(182+186)/2
預金利息	1,000	定期預金等の受取利息
経常寄付	249,000	前年度分
特別基金から繰入	1,587,026	ITインフラ経費残額
(年合計)	(7,357,026)	
前期繰越金	4,520,339	前年度累計剰余金
総合計	11,877,365	

(支出)

項目	予算額	備考
会議費	160,000	理事会・評議員会の会場費等
行事費	120,000	準会員の工場見学バス代他
交流・懇親行事費	120,000	会場費・講師謝礼・懇親会補助
広報費	1,750,000	会報の製本、郵送費、ホームページ管理費等
会員データ管理費	280,000	データ管理費、不明調査
協賛費	300,000	工学部・全学同窓会・大学の行事等
渉外費	20,000	交際費・弔電代
事務局費	2,300,000	事務局員の給料・交通費等

通 信 費	100,000	電話・会費督促状発送費
事 務 費	120,000	事務用品代・印刷費等
備 品 費	400,000	プリンター購入代等
会費徴収費	80,000	会費払込み手数料等
予 備 費	200,000	
(年合計)	(5,950,000)	
(年収支差額)	1,407,026	2017年度剰余
次期繰越金	5,927,365	2017年度末累計剰余金
総 合 計	11,877,365	

② 特別基金

(収 入)

項 目	円	米ドル	備 考
円貨利息	20,000	—	円預金の受取利息
外貨利金等		80	MMF分配金
前年度繰越金	36,235,087	44,895.42	
合 計	36,255,087	44,895.42	

(支 出)

項 目	円	米ドル	備 考
後博進学援助	750,000	—	25万円×3名
経常費へ移管	1,587,026		ITインフラ経費残額
次年度繰越金	33,918,061	44,895.42	
合 計	36,255,087	44,895.42	

③ 工学部同窓会奨学金基金

(収 入)

項 目	円	備 考
預金利息	7,000	
前年度繰越金	31,331,107	
合 計	31,338,107	

(支 出)

項 目	円	備 考
貸与奨学金	3,500,000	50万円×5名(事前予約採択者)+25万円×4名
事務費	100,000	通信費・コピー代等
(小計)	(3,600,000)	
(年収支差額)	△3,593,000	
次年度繰越金	27,738,107	
合 計	31,338,107	

(7) その他